

東日本大震災復興支援
第67回国民体育大会 バasketボール競技

MATCH No. 1D2

開催場所: 高山市立中山中学校体育館
試合区分: 少年男子準決勝
開催期日: 2012年10月1日 (月)
開始時間: 11:55

主審: 宇田川 貴生
副審: 高城 邦弘・大山 直輝



Team A 北海道	●	13 -1st- 24 21 -2nd- 18 19 -3rd- 14 23 -4th- 25	○	Team B 京都
	76		81	

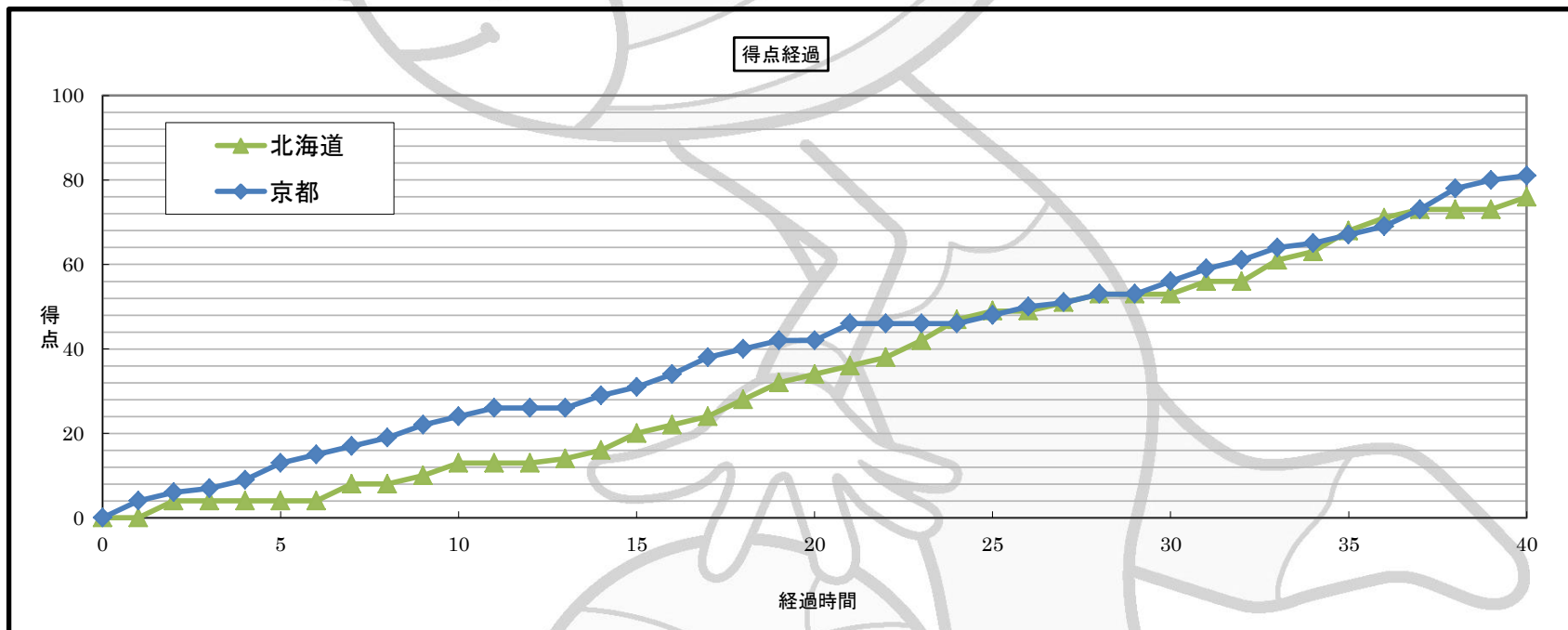
TEAM A		北海道							
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	R	A
4	*	森川 陸(C)	9	0	3	3	4	1	5
5		菅原 一成	0	0	0	0	0	0	0
6		井上 就太	0	0	0	0	0	0	0
7	*	佐藤 智也	8	1	2	1	4	4	0
8		内田 旦人	0	0	0	0	0	0	0
9	*	高橋 耕陽	20	2	7	0	2	4	2
10		熊沢 誠也	0	0	0	0	0	0	0
11	*	三井 啓史	19	2	6	1	2	4	0
12		高橋 裕作	0	0	0	0	2	0	0
13		関野 剛平	1	0	0	1	2	3	0
14	*	高地 秀明	16	0	6	4	2	7	1
15		佐藤 卓磨	3	0	1	1	2	4	0
Coach		長野 雅男					0		
TOTAL			76	5	25	11	20	27	8

TEAM B		京都							
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	R	A
4	*	河合 祥樹(C)	15	0	5	5	3	3	1
5		伊藤 達哉	12	0	4	4	2	2	4
6	*	仁平 拓海	17	0	7	3	0	9	1
7		寺部 亮佑	8	0	4	0	4	5	0
8	*	宮脇 隼人	9	0	3	3	1	6	0
9		伊藤 諄哉	13	2	3	1	2	2	0
10		西戸 良	0	0	0	0	1	1	1
11		新城 隆平	0	0	0	0	0	0	0
12		中西 佑介	3	0	0	3	0	1	0
13	*	森井 健太	0	0	0	0	2	0	0
14	*	渡部 裕地	4	0	2	0	2	1	0
15		菅 祐史	-	-	-	-	-	-	-
Coach		作本 信夫雄					0		
TOTAL			81	2	28	19	17	30	7

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	-	-	37:15	37:51		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	16:12	-	23:24	35:19		

*:スターター (C):キャプテン PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル R:リバウンド A:アシスト



準決勝2試合目1Q、北海道はハーフコートマンツーマンディフェンス、京都はオールコートマンツーマンディフェンスで始まる。立ち上がりから京都は#4のスピードのあるプレーで得点する。北海道は#9の1対1を中心に得点するが、13-24と11点差で1Qを終える。2Qに入ると北海道ディフェンスの当たりが強くなるが、京都は#5のドライブやカットプレーで積極的に攻める。北海道は#9の1対1や、#4のパスを受けた#14が速攻でシュートを決め、一進一退の攻防を繰り返す。34-42と京都のリードで迎えた3Q、北海道は#11のリバウンドシュートや1対1の連続得点で47-46と逆転に成功する。京都のタイムアウト後、京都は北海道#9にボールを持たせないディフェンス、北海道は京都#4、#5へのマークを強めるディフェンスにお互いに変化させる。北海道は#11にボールを集めインサイドを攻め、京都は#5のドライブを中心に#9の3Pで対抗するが、ここでも互いに点差がつかず53-56と、京都の再逆転で3Qが終わる。4Q、北海道はディフェンスをハーフコートマンツーマンに戻すと、ルーズボールを追った#7の3Pや、小刻みなパス回しから#4、#11がジャンプシュートを決めて66-65と1点のリードを奪う。ここから京都は#6、#8がインサイドで粘りを見せ、73-73の同点まで持ち込むと、ディフェンスをゾーンにかえ、#4を中心に速攻でさらに加点していく。そして、76-81で追いすがる北海道を振り切った。両チームのベンチワークも冴えわたる、準決勝にふさわしい試合であった。

記載責任者 落合 一大 (所属) 岐阜県バスケットボール協会